

自己評価結果シート【令和2年度】

1. 本園の教育目標

<p>○教育及び保育の目標や理念</p> <p>乳幼児の安定した生活の中で情緒の安定を図るよう努め、自己を十分に表現し発揮できるように配慮し、心身ともに豊かに成長することができるように努め、地域社会との交流や連携を図り、保護者に適した支援を行うと共に日々子どもたちの幸福の追求のために努力を惜しみません。</p> <p>○教育及び保育のねらいや内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活や遊びを通して、学ぶ事の楽しさを知り、一つ一つの体験の積み重ねの中で、興味関心を広げる。</li> <li>自ら考え主体的に物事に取り組み、解決していく力及び自主、自立、協力、協調の精神を育む。</li> <li>音楽、描画、身体表現、造形に親しむ中で、豊かな感性と表現力の芽生えを養う。</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
<p>教育・保育方針</p> <p>教育及び保育の目標</p>	<p>職員間での情報伝達を見直し、今年度は毎朝の職員会議、昼の職員会議録の配布の他、月1回の全体会議を土曜日に実施し、時間の効率化及び情報共有の強化に努めた結果、昨年度より職員間の情報伝達をスムーズに行うことが出来た。</p>
<p>健康支援</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、毎日の検温、手洗いや手指消毒やマスク着用の他、ハード水の噴霧器やオゾン発生器を導入、おもちゃ消毒や用具消毒の強化など、自己管理で実施できる対策を徹底して実施した。また、誕生会や発表会など保護者が参加できる行事を縮小し、感染症対策を徹底した。</p> <p>また、早寝・早起き・朝ごはんの徹底を呼び掛けを実施し、過半数が達成できているが、まだ一部で実施できていないご家庭が見られる。協力してもらえる方法を再考し、保護者と連携して早寝・早起き・朝ごはんが徹底できるようにしていく。</p>
<p>安全管理</p>	<p>近年、温暖化の影響による天候の変動が顕著になってきており、記録的な大雨が年々増加傾向にある。その影響により、洪水や土砂災害などの水災害が増えてきている。避難訓練については、火災による避難以外にも、水災害における避難訓練を実施し、水害の恐ろしさや心得を学んだ。</p> <p>交通安全教育については、今年度から大型スクリーンを用いた体験型の交通安全教室を専門指導員より実施してもらい、交通安全に対する理解を深めることができた。</p>
<p>食育の推進</p>	<p>毎日食前に、栄養士による食育を実施し、食に対する興味や理解を深めてきた。また、全クラスが野菜を栽培することにより、野菜を育てる大切さや苦勞を感じ、食の大切さを伝えてきた。今年は</p>

	<p>裏の畑の土を見直し、土壌改良を実施した成果もあり、例年以上に豊作であった。</p> <p>また年長児を中心に、田植え・稲刈り・餅つきを体験し、食に対する理解を深めることに寄与できた。</p>
子育て支援	<p>今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、子育て支援を実施する機会が減少してしまった。しかし子育てに悩んでいるご家庭や親子の集いを求めているご家庭はたくさんあるので、来年度は少しでも多く子育て支援を開催できるように、工夫していきたい。</p>
教育・保育内容	<p>YYプロジェクト2年目であったが、クラス編成は大きく変えなかったため、昨年度よりスムーズに年度をスタートすることができた。また、教育内容についても2年目ということもあり、子ども達の動作や能力にも変化が見られ、昨年度以上に運動能力や学習能力の向上が見られた。</p> <p>また、YYプロジェクトは3歳児からであるが、2歳児から強化すると3歳児への移行がスムーズであるため、2歳児及び、1歳児の後半から、YYプロジェクトを導入した。年度の終盤から始めたため、来年度は最初から実施していきたい。</p>
特別支援教育	<p>昨年度にくらべ、先生達が落ち着いて教育・保育にあたることができたため、子ども達にもそれが伝わり、落ち着いてすごすことが出来た。特に特別に支援を必要とする子どもについても、クラス全体が落ち着いていたことや、保育者の声掛けを変えたことにより、精神的にも肉体的にも成長がみられる年となった。</p>
職員の資質の向上	<p>新型コロナウイルス感染症により、園外研修は半分以上参加することができなかったが、オンライン研修等、可能な限り参加できるものは参加し、職員の資質向上に努めた。</p> <p>職員間の意見交換については、昨年度に比べると少しずつ出てきたように感じる。しかし、職員同士の教育や指導は見直さないといけないため、今後検討する必要がある。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳児以上は9時からの教育時間を設定することで、小学校就学へ向けてリズムを整えられた。</li> <li>・英会話、サッカー教室、体操教室、ピアノ教室の他、今年度から太鼓教室の外部講師を設け、様々な分野で子ども達の可能性を引き出す手助けをすることが出来た。</li> </ul>

### 3 今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み
教育・保育内容	<p>YYプロジェクト2年目であったが、コロナの影響もあり、オンラインで実施する機会が増え、対面式が減ってしまった。それでも昨年度以上の成果を上げることができたので、今後はYYプロジェクトに参加できる職員を増やせるようにし、園全体の底上げを図っていききたい。</p> <p>また、2歳児の強化が重要であると感じたため、来年度からは2歳児の強化を図っていききたい。</p>
職員の資質の向上	<p>職員間の指導や教育については、今後見直す点が多いため、教育係を設けたり、自己評価を強化したり等、来年度は強化できるように計画していききたい。</p>